

第 1 回 倉 渕 地 域 審 議 会

総合計画前期実施計画事業に係る質疑

事業名	No.	質 疑	回 答
学校体育施設整備事業	1	耐震性を考慮し改築等を行うとあるが、どのくらいの震度に耐えられる設計となっているのか。	震度6の大地震で倒壊しない耐震性を持たせる基準となっている。
	2	3月11日の震災の実績に基づいて、防災計画を練り直してもらわないと全ての安全性が保たれないと思われる。	【要望】
	3	今の倉渕小学校のプールは、できた当時の地域の人の思い等歴史的経緯があるのでその歴史を大切にしていきたい。	【要望】
橋りょう再整備事業	1	橋の耐震性はどの程度なのか。	昭和55年以前に整備された橋りょうについては、明確な耐震基準は無かったと思われる。今回15メートル以上の橋りょうにおいて震度6で崩壊する恐れがあるか、また、老朽化について調査している。
	2	老朽化でも地震でも耐えられればよいので、早めに点検をお願いしたい。	【要望】
簡易水道整備事業	1	消毒薬として、次亜塩素酸ナトリウムを注入しているが、その濃度の基準はどの程度か。また、濃すぎた場合人体にどのような影響を与えるのか。	厚生労働省の基準によると、0.1mg/L以上を確保することとされ、上限については、特別設けていない。また、市水道局は0.4mg/Lを基準としている。なお、倉渕地域では、従前から0.1から0.2mg/Lの濃度で管理している。 人体に与える影響については、1.0mg/Lを超えると、体質によっては変調をきたすとの報告例がある。
	2	残留塩素は、配水元が濃いのか、それとも流末が濃いのか。	基本的には、蒸発をするので流末の方が薄くなる。

事業名	No.	質 疑	回 答
小栗の里整備事業	1	倉淵公民館の前にある桜の木は伐採してしまうのか。	移植を含め色々と検討したが、新しい建物のスペースを確保するため、伐採する方向で検討している。
	2	桜にかわるものを整備する計画はあるか。	新しい施設は、集客施設としての考えがあるので、花等は、道路から見えるところに植栽する計画である。
	3	倉淵公民館や多目的集会所の周りがある、寒桜、藤などは、できる限り新しい施設の周りに移植してもらいたい。	【要望】
	4	今植栽されている樹木等は、歴史的経緯や地域の曆的意味合いがある。その役目を終え、伐採するのであれば、モニュメントを造る等してその歴史等を大切にしてもらいたい。	【要望】
	5	道の駅の条件や倉淵地域の道の駅の構想はどのようなものか。また、大型バスや中型バスの駐車はどう考えているのか。	道の駅の条件は、24時間利用ができる駐車場及びトイレが整備されていること、そして、交通情報等の情報を提供する施設が整備されていることである。この条件を満たし、申請し、認められれば、道の駅となる。直売所等の施設については、道の駅の認定には直接関係がない。多目的集会所の駐車場については、近くに民家があるので、夜間の大型車の駐車は禁止と考えている。そのため、新設する構内道路のスペースや支所前の駐車場を大型車の駐車場と考えている。 また、新設する拠点施設には、1階に農産物等の直売所、倉淵の郷土食が味わえるようなレストラン、木工等の体験工房、豊田画伯の画や小栗上野介公等を紹介する展示室、また、通路を広めにつくり、その壁に倉淵の自然や道祖神等を紹介する展示を検討している。2階には、多目的ホールや調理実習室、休憩所的なカフェ等を計画している。
	6	倉淵の地域の人々の意見を取り入れて、いわゆる線香花火ではないが、ぱっと散ってしまわぬ様お願いしたい。	【要望】

その他の質疑

内容区分	No.	質 疑	回 答
<p>廃校の活用について</p>	1	<p>廃校となった倉淵川浦小学校並びに倉淵東小学校の活用方法はどのような考えがあるのか。また、陳情書を提出したがその取扱いはどうなっているのか。</p>	<p>昨年秋に開催されたこの地域審議会においても、委員の皆様から要望をいただき、市でも色々な手を尽くし検討しているが、今のところ具体的な策までには至っていない状況である。これまでの経緯は、昨年8月に倉淵地区の区長会から要望書をいただき、また、その後、倉淵の川浦地区の長寿会からも陳情書をいただいた。</p> <p>市としても、職員による利活用検討プロジェクトチームを立ち上げ検討を始めたところである。少子化が全国的に進んでおり、数多くの小中学校が閉校となっており、どこもその跡地、施設の利活用について苦慮している状況にある。</p> <p>なかなかどのようなものに使っていくかは難しいことであるので、その辺をご理解いただきたい。また、なるべく早い時期に審議会の委員さんには具体策を示したいと考えている。</p>
	2	<p>小学校の統合で、2校が今空き校舎となっているが、倉淵地域には、公共のプールがないので、今まで使っていたプールを地域の人達に開放することはできないか。どちらか一方でも開放できれば、健康の増進や親子のふれあいも持てるのではないか。検討をお願いします。</p>	<p>直ぐにプールを開放するには、管理等の問題がある。今までの利用体系等を検討しながら開放できるかどうか確認する。</p>
<p>倉淵小学校開校について</p>	1	<p>開校して2ヶ月が経とうとしている。順調にスタートしたと思われるがその状況はどうか。</p>	<p>学校から2キロメートル以上離れている児童は、バス通学となり、最初のうちは、乗車に手間取りバスが遅れることがあったが、今では順調に通学している。</p> <p>また、学校から2キロメートル以上離れ、さらに最寄りのバス停から1キロメートル以上離れている児童は、タクシー通学となっている。こちらも最初のうちは色々手間取ったが、今では順調に通学していると学校から聞いている。</p>

内容区分	No.	質 疑	回 答
倉渚小学校開校について	2	倉渚小学校前の権田車庫行きのバスの停留所は、狭く、また、交通量が多く、学校側へ横断するのは危険である。毎朝、交通安全指導員が3名出動し誘導してくれているが、事故が起こってからでは遅いので、停留所を拡幅するとか、バスのダイヤを変更して学校側の停留所で降りられるようにするなどの対策をお願いしたい。	ご指摘のとおり状況にある。場所的な問題があったり、バス会社や陸運との調整も必要となったりするので、良く調査し対応をしたいと考えている。
			関係機関や庁内関係課とも協議し、国道の横断を回避する方向で検討している。権田線は、権田車庫まで行って折り返して学校側で降りる方法で、月並線の延長路線は、校内で降りる方法で手続きを進めている。
倉渚地域の防災対策について	1	<p>今まで倉渚地域では、農協の有線放送が防災情報の周知の役割を担ってきたが、施設の老朽化により維持管理が困難になり、平成24年2月末で廃止の方向となっている。農協としては、それに替わる防災情報の周知方法として、防災無線の整備を市へ要望したが、市からの回答は、携帯電話によるメール送信、ラジオ高崎による情報提供であった。組合員からは、そのような方法では、こどもやお年寄りなどの弱者は、守れないのではないかと意見がある。</p> <p>この地域が、防災情報を得る方法で置いて行かれる事はあってはならないことであるので、皆が平等に情報を得られる方法をもう一度検討していただきたい。</p> <p>農協の有線放送が廃止になるのと同様くらいに、防災行政無線を入れてもらいたい。</p>	以前、携帯電話やラジオによる情報周知方法を回答した。より多くの人に平等に周知できる方法について、検討し回答する。
			防災行政無線については、平成22年度に基本設計を実施し、倉渚地域の屋外拡声器の必要予定数は、設計では46基となっている。 今後の事業計画としては、平成24年度に実施設計を行い、翌年には事業着手をしたいと考えている。
			防災情報をどのような方法で市民に周知するかについては、ラジオ、車の拡声器、防災行政無線、区長さんからの伝達等いくつかの方法が考えられるが、もう一回洗い直してみたいと考えている。 今まで積み上げてきたことは誠意を持って進めるが、お年寄りの家庭、寝たきりの人がいる家庭、耳の弱い人等への情報提供をどうするかをよく調べ、もう一度よく考えたい。年度中には目安をつけようと思う。

内容区分	No.	質 疑	回 答
ぐるりんバスについて	1	<p>現在のぐるりんバスのダイヤは、昨年9月からの1年間の試験的運行と聞いているが、利用する人の時間が合わず、また、市街地に行くためには乗り換えが必要なためいつも空っぽの状況である。お年寄りの通院や高校生の通学など、利用者のことを考えた時刻設定と、乗り換えなしで市街地まで行けるような路線設定を要望する。</p>	<p>懇談会や色々な場面で色々な意見を聞いている。昨年の9月から試行運行を始め、この間、色々な意見の集約、乗降量等の調査をし、現在検討を進めている。懇談会での「通院の不便」、「通学の不便」、「時刻設定」等の意見の重要性も重々承知している。また、こちら倉淵の方は、市街地からかなり遠距離になるという意見も沢山聞いている。</p> <p>これらを考えながら、また、全市的な交通体系を考えながら、今検討をしている最中である。</p> <p>「直通があったのだから直通にすればいいじゃないか」と思われるかもしれないが、それをやったら民間バスが引いてしまう。民間バスが引いたらそれを全部ぐるりんでするのは経費的に無理なので、技術的にかつてに戻ることはないのではないかと思う。</p> <p>しかしそうはいつでも、病院に行く方なことなど個別なことをよく考えて、代替的な手法はないか検討する。昔は、直通だったからといって直通が復活することは無理かもしれない。</p>
倉淵学童クラブについて	1	<p>倉淵学童クラブの玄関の付近にチェーンがかけてあり、セーフティコーンが置いてある。応急的な措置だと思われるが、危険なので確認願いたい。また、学童クラブの玄関から繋がっているフェンスは、前から壊れかけていたので、それも確認願いたい。</p>	<p>早々に確認する。</p>
小規模水力発電について	1	<p>過日、烏川上流域で小水力発電の計画があるような新聞記事が掲載されていた。このことについて、説明願いたい。</p>	<p>小水力発電は、自然エネルギーの一つで、地球温暖化の原因となる二酸化炭素の排出量が少なく、エネルギー源の多様化に貢献するエネルギーとして、人々の環境意識の高まりとともに、地球温暖化対策の一環として、近年、非常に注目を浴びている。しかし一方で、水量など自然条件により出力が大きく変動することや、導入するためのコストが高いなどの課題があるため、なかなか普及が進んでいない。</p> <p>本市においても、優れた自然環境や農地、森林、水などの豊かな資源に恵まれているが、地域資源としての自然エネルギーについては未利用のものが多いため、今後その活用を図って全市的に拡大することが課題となっている。</p>

内容区分	No.	質 疑	回 答
小規模水力発電について			<p>(前頁からの続き)</p> <p>昨年度は、市内の自然エネルギーの利用可能量の調査を実施するとともに、各種自然エネルギーの導入の可能性と導入に向けての基本的な考え方を整理し、地域特性をふまえた活用方法の検討を行った。</p> <p>小水力発電については、現在のところ具体的な導入の計画はなく、今後の整備については、設置場所が限定されることや、季節や気象によって出力が変化すること、設置費用が高いことなどの課題について検討し、効果や有効性を見極め判断していく必要がある。</p> <p>このようなことから、引き続き調査・研究を行っていく。</p>

